

2024年度の事業報告書(案)
2024年7月1日から2025年6月30日まで

特定非営利活動法人ドネーションシップわかちあい

1 事業の成果

▼生命と自立を支える事業:

- パレスチナ・ガザ地区での人道危機が続くなかで、緊急支援、平和構築の活動を続ける「ガザに野菜を届けるキャンペーン」「平和のための戦闘員(CFP)」の2団体に各60万円、合計120万円を、わかちあい寄付(2024年10月)
- 物価高騰で窮乏化する国内の子ども支援の11団体に各10万円、総額110万円を、わかちあい寄付(2024年12月)
- ガザ緊急支援「パレスチナ子どものキャンペーン」に6万円を、わかちあい寄付(2025年1月)
- 能登半島地震被災地で活動する「能登復興ラボ」に100万円を、わかちあい寄付(2025年4月)
- ミャンマー地震支援募金(似顔絵マルシェにて)を実施、売上と募金の総額125,983円を、海外市民援助支援センター(CODE)の「ミャンマー地震緊急支援プロジェクト」にわかちあい寄付(2025年5月)
- ガザ緊急支援「パレスチナ子どものキャンペーン」に100万円を、わかちあい寄付。(2025年5月)

2024年度の「わかちあい」の総額は4,485,983円になった。

○事務所を拠点に「わかちあい」を発信し、形にする。

- ・フードドライブ収集拠点(フードバンク京都と連携、ご家庭等の余剰食品を持ち寄り、必要としている人に届ける取り組み)
- ・似顔絵マルシェ&ミニバザー(2024年10月、2025年4月に開催。会員さんから手作り品等を提供、協力いただく)

▼情報などの事業:

通信発行、メルマガ、ホームページなどを通じて、これまでご縁のあった方々をゆるやかにつなぐ。皆さんの近況や寄付先現場のイベントや情報、お話をシェア、発信する。SNSでの発信を開始。

▼全体として: 発足から18年余の寄付の総額は49,213,686円になった。(2025年6月末現在)

小さな庶民の気持ちを集めて、一人では出来ない額の寄付(わかちあい)をすることが出来た。国内外の様々な現場に庶民の気持ちを届け、役立つことができた。事務所を拠点に「フードドライブ」「似顔絵マルシェ」を開催し、「わかちあい」を広げると同時に、共感する方々とのふれあいやつながり、交流の場を築いた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 |
|----------------|---|------------|--------|--------|--------------------------|
| 情報などの交流を促進する事業 | ウェブサイト、ブログ等を通じて、困った時はお互い様の輪を広げる情報発信、交流を図る。通信(年2回)発行。 | 通年 | 法人事務所等 | 15人 | 不特定多数 |
| 生命と自立を支える事業 | ▼ガザ支援2団体に合計120万円を寄付 ○ガザに野菜を送るキャンペーン ○平和のための戦闘員(CFP) | 2024.10.29 | 法人事務所等 | 10人 | パレスチナ・ガザ地区の人々 |
| | ▼国内子ども支援11団体に110万円を寄付 (別記補足資料参照) | 2024.12.23 | 法人事務所等 | 10人 | 国内各地のこども食堂、こどもの居場所等の支援現場 |
| | ▼ガザ緊急支援に6万円を寄付 (劇団道化座様からのガザ支援募金) | 2025.2.10 | 法人事務所等 | 10人 | パレスチナ・ガザ地区の人々 |
| | ▼能登復興ラボに100万円を寄付 能登の被災地で持続可能な復興を目指す | 2025.4.28 | 法人事務所等 | 10人 | 能登半島地震被災地の人々 |
| | ▼ミャンマー地震緊急支援125,983円を寄付 (似顔絵マルシェでの募金とバザー売上) | 2025.4.30 | 法人事務所等 | 15人 | ミャンマー地震被災地の人々 |
| | ▼ガザ緊急支援に100万円を寄付 ガザを見捨てない、皆の声をサイトにアップする | 2025.5.23 | 法人事務所等 | 10人 | パレスチナ・ガザ地区の人々 |

◆生命と自立を支える事業 ドネーションシップ・プロジェクト(2024年7月~2025年6月末)

●第27回わかちあい 2団体に各50万円、合計100万円を寄付(2024年10月)

ガザ・パレスチナ緊急支援

ガザ地区での人道危機がはじまってから1年が経過。しかし、理不尽な攻撃は止むことなく、子どもを含む死者は4万人を越え、爆撃に加えて病死、餓死する人も増え続けている、という状況のなかで、いたたまれない思いで寄付を託して下さい方もおられ、以下2団体への支援を決定した。パレスチナとイスラエル双方の対話による非暴力の平和構築活動と、ガザ地区に緊急支援の食料を届ける活動へのわかちあい寄付。



▼平和のための戦闘員 (CFP Combatants for Peace)

パレスチナとイスラエルの元兵士の間で2006年に設立された草の根平和構築NGO。ストーリーテリングや双方の若者を集めておこなわれる「freedom school」などを通じて、パレスチナ人とイスラエル人がともに非暴力と対話を通じた反占領と平和構築活動を続けている。2017年2018年にノーベル平和賞にノミネートされている。



▼ガザに野菜を届けようキャンペーン

長年、ガザ地区の人々とつながり信頼関係を築いてきたピースボートが実施するキャンペーン。国連世界食糧計画(WFP)によると、ガザの人口の90%以上が食料不安、飢餓状態にある。現地パートナーと協力して、子どもたちに不可欠な野菜を届けている。今回の支援で約120世帯に野菜セットが届けられた。 →

●第28回わかちあい 11団体に各10万円、合計110万円を寄付(2024年12月)

物価高騰で困っている国内の子ども支援の現場にクリスマス歳末カンパ

物価高、食料品や生活物資の高騰が続くなか、「子どもの貧困」に取り組む各地の現場から活動継続の窮状が伝えられる。このご時世のなかで、ささやかでも子どもたちにクリスマス歳末支援を届けられないか、という提案があり、これまでつながりのある国内各地のこども食堂、子ども支援の現場に寄付を実施した。

■支援先11団体

山王こどもセンター(大阪・西成) / CPAO(シーパオ)(大阪)
キッズキッチン(京都・向島) / サンタナ学園(コレジオ・サンタナ)(滋賀)
豊島子どもWAKUWAKUネットワーク(東京) / 四つ葉のクローバー(滋賀)
山科醍醐こどものひろば(京都・山科) / ごはん処「おかえり」(大阪・豊中)
ももやまこども食堂(沖縄) / IKUNO・多文化ふらっと(大阪・生野)
こどもの里(大阪・西成)



山王こどもセンタークリスマス会

●ガザ緊急支援募金 ガザ緊急支援に60,000円を寄付(2025年1月)

阪神大震災30年目の1月に開催された神戸市の劇団「道化座」の公演で、ガザ緊急支援募金が呼びかけられ、寄せられた募金を当会に託して頂いた。その全額を「認定NPO法人パレスチナ子どものキャンペーン」に寄付させていただいた。

▼認定NPO法人パレスチナ子どものキャンペーン

2023年10月7日のハマスの攻撃に端を発したパレスチナ・ガザ地区へのイスラエルの空爆で犠牲者が増え続けるなか、現地スタッフとともにガザからの情報を発信し、パレスチナ・ガザ緊急支援(救援活動)を続けている。

炊き出し→



●第29回わかちあい 「のと復耕ラボ」に100万円を寄付(2025年4月)

一般社団法人のと復耕ラボ



「能登半島の里山の『暮らしを耕す』ことを通して、地域内外の人との関係を深め、持続可能で豊かな地域づくりに寄与する」ことを目指し、能登らしい復興のモデルをつくっていくための団体です



拠点(茅葺庵)の歴史



のと復耕ラボの始まり

能登半島地震の被災地に出来ることはないかと探すなかで出会った取り組み。能登半島の里山を暮らしを耕す、ことを通して地域内外の人との関係を深め、持続可能で豊かな地域づくりを目指す。

人と自然が共生する、能登らしい復興のモデルをつくっていくことを目指している。

被災地住民のニーズに応える民間ボランティアセンターからスタートし、解体される古民家の木材の再利用、森づくり、耕作放棄地の再生などに取り組んでいる。

●ミャンマー地震緊急支援募金

海外市民援助支援センター(CODE)に 125,983円を寄付(2025年4月)

3月28日に発災したミャンマー大地震、自分たちも出来ることをと、4月26-27日に開催した似顔絵マルシェで募金を呼びかけた。2日間の募金とミニバザーの売上の全額をCODEのミャンマー地震緊急支援プロジェクトに寄付した。



●第30回わかちあい

「パレスチナ子どものキャンペーン」に100万円を寄付(2025年5月)

5月、ガザ地区の死者は5万5千人を越え、ガザの70%が退避勧告地域となり、物資搬入が完全に遮断され食料も医薬品も入らず、人口の90%が飢餓に瀕している、という事態のなかで、給水活動や炊き出しを続けるパレスチナ子どものキャンペーンの活動に支援を決定。

あわせて「私たちはガザを見捨てない」という会員の皆様の声をホームページに掲載した。

2023年の10月以降、ガザ支援として実施した寄付は5つの団体・活動に合計総額 3,946,000円となった。



事務所の玄関ポスター

～ひとりできることは小さいけれど

みんなの力をあわせれば 世界に笑顔がひろがっていく～

発足から68余の寄付の総額は49,213,686円になりました！

◆活動日誌 (2024年7月～2025年6月末)

7月16日 ドネ通信32号発送 (会員更新のお願い)

8月24日 総会 ～年度末文書の報告・承認、役員改選 他～

9月7日 サンタナ学園：多文化交流セミナー (立川)

9月15日 笑顔つながろう会 (311避難ママ)

地域で映画「決断」上映とマルシェ (ブース参加)

10月26日 寄付先選定委員会

「平和のための戦闘員」「ガザに野菜を送るプロジェクト」への寄付を決定 (10/29送金)

10月26・27日 似顔絵マルシェ 事務所にて

11月12日 京都市、海外送金に関するモニタリング

12月21日 ごはん処おかえりクリスマス会 ボランティア (有志5名)

12月21日 寄付先選定委員会 ドネ会・納会

国内の子ども支援、11団体に総額110万円の寄付を決定 (12/23送金)

1月21日 ドネ通信33号発送 (領収書同封)

2月22日 ドネ会、事務所オープン作業日 (認定NPOの更新申請準備、事務作業他)

3月4日 ごはん処・おかえり訪問 (上野さんに近況を聞く)

3月8日 3.11メモリアルキャンドル向島 (笑顔つながろう会、地域の方々と)

4月26-27日 似顔絵マルシェ、事務所にて ～ミャンマー地震緊急支援募金を実施～

寄付先選定委員会 のと復耕ラボに100万円の寄付を決定 (4/28送金)

5月22日 寄付先選定委員会 ガザ緊急支援100万円の寄付を決定 (5/23送金)

6月28日 ドネ会 (認定NPOの更新申請、年度末、総会に向けて、他)



※日常的にウェブサイトでの情報発信 (ドネの活動、寄付先からの情報等) ブログ、メルマガ、交流掲示板で情報発信、情報共有、交流。事務所でフードドライブの食品を常時受付。